

「こんなときは、こういえばいいよ」

矢崎 美香子

最近、相手が傷つくような、聞いていていやな気持ちになるような言葉が聞こえてくることがあり、少し気になっていました。そこで、先日、子供たちに言葉の言い換えを提案しました。

相手の心が痛くなったり、悲しくなったりする「ちくちく言葉」を相手の心が元気になったり楽しくなったりする「ふわふわ言葉」に言い換えます。

友だちがころんで、ひざをすりむいた・・・



だいじょうぶ?

友だちのこえがおおきいんだけど・・・

ちいさなこえで
おはなしてね



ばかじゃないの。へんなの。
いやだ。うるさい。だまれ。
などの言葉ではなくて・・・

友だちに、おもちゃをかしてついでに
いわれたけど・・・

ちょっと
まってね



友だちがあたらしいリボンをつけてきたよ



ステキ
かわいいね

友だちが、かいたえを
みせてくれたよ・・・

おもしろいね
たのしいね



ご家庭でもこんな言葉の言い換えは、どうでしょうか？

例えば、

- ・言うことを聞かない→自由な人
- ・落ち着きがない→行動力がある
- ・おせっかい→世話好き
- ・臆病な子→慎重派
- ・忙しい→毎日が充実している
- ・意地っ張り→意志が強い
- など

他にも

- ・いかげんにして→少し落ち着いて考えよう
- ・そんなこともできないの→次はうまくいくよ
- ・何やってるの、全然ダメね→一緒にやってみよう
- ・また失敗したの→次はうまくいくよ
- ・何でこんなことも分からないの→一緒に考えてみよう
- など

6月の生活目標は、「ふわふわ言葉を使おう」です。子供たちも言葉を意識しながら生活しています。上記の中に、なるほどと思える言葉がありましたら、ぜひご家庭でも試してみてください。

全員が全力で頑張った運動会でした！

5月最後の土曜日。「チーム友達 力を合わせ ゴールまで走りぬけ」のスローガンのもと、運動会が行われました。結果は、赤組の勝利でしたが、子供たち全員が、全力で運動会に臨む姿は、とても立派でした。開会式の中で行われたエール交換も、6年生の“想い”と“チーム”を感じる素晴らしいものでした。勝っても負けても、全校児童が「いい運動会だった。」と言える運動会でした。運動会后、6年生は、下学年のお世話をしたり、手本になったりと一段と頼もしくなりました。他の学年も学習に向かう姿勢などに成長が見られます。保護者の皆様には、子供たちへの温かいご声援や準備・後片付け等たくさんご協力をいただき、ありがとうございました。

